

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 5. 24 第 196 回国会第 17 号

5 月 24 日（木）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 卸売市場法及び食品流通構造改善促進法の一部を改正する法律案（内閣提出第 40 号）

- ・齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、野中農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・亀井亜紀子君（立憲）、関健一郎君（国民）及び田村貴昭君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、公明、維新 反対－立憲、国民、無会、共産、寺田学君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

古川康君（自民）

- ・中央卸売市場の認定に規模要件を課す理由は何か。
- ・大手量販店のバイイングパワーがより強大になるのではとの不安の声にどのように答えるのか。
- ・農林水産大臣は、新制度が関係者にどのような効果をもたらすことを期待しているのか。

佐藤英道君（公明）

- ・農林水産大臣は、卸売市場が果たすべき役割をどのように考えているのか。
- ・卸売市場について国がこれまで以上に責任をもって指導・監督を行う必要があるのではないかと。
- ・法改正を機に、仲卸業者に対し、より手厚い支援策を講じていくべきではないかと。

石川香織君（立憲）

- ・生産者や消費者から卸売市場法改正の要望はあったのか。
- ・中央卸売市場整備計画の廃止に伴い、施設整備への支援はどのように変わるのか。
- ・法改正は、食品流通構造の寡占化につながるのではないかと。

大河原雅子君（立憲）

- ・財務省が学校法人森友学園との国有地取引をめぐる交渉記録を改ざんと同時期に廃棄していたとされる件について、農林水産大臣はどのように受け止めているか。
- ・卸売市場にHACCPに沿った衛生管理を導入する意義を農林水産大臣に伺いたい。
- ・全ての飲食料品にトレーサビリティ・システムを導入する必要性について、農林水産大臣はどのように考えているのか。

るのか。

緑川貴士君（国民）

- ・中央卸売市場法制定当時から現在まで、卸売市場法が果たしてきた役割について農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・卸売市場法施行規則で定める例外規定以外で第三者販売を認める意義は何か。
- ・卸売業者について、集荷した商品を売り込む能力のある人材の育成を図るべきではないかと。

関健一郎君（国民）

- ・卸売市場の適正配置について農林水産省の認識を伺いたい。
- ・食品等流通合理化計画に従ってどのような事業者が支援を受けることができるのか。
- ・食品流通構造の将来像について伺いたい。

大串博志君（無会）

- ・卸売市場の開設に当たって、許認可制から認定制に改められることでどのような変化が起こるのか。
- ・法改正後、認定を受けない卸売市場はどの程度開設すると見込んでいるのか。また、どのような卸売市場となると想定しているのか。
- ・卸売市場の開設に民間事業者の自由参入を招きかねない許認可制から認定制への改正を行う理由は何か。

田村貴昭君（共産）

- ・卸売市場の業務規程を策定する主体、卸売業者等に対する監督を行う主体はどこか。

- ・法改正を行わない場合、卸売市場や我が国経済にどのような支障が生ずるのか。
- ・卸売市場の有する機能の重要性を国民により発信する必要があるのではないか。

森夏枝君（維新）

- ・法改正後、生産者にとって卸売市場を介した販売と産地直送の販売ではどちらが有効となるのか。
- ・仲卸業者の目利きが我が国の食文化に果たす役割は何か。
- ・卸売市場の活性化の観点から、法改正後、開設者に対し国としてどのように関与していくつもりか。